


2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意識や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 宮城県 】

学校名【 大河原町立金ヶ瀬中学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・④・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	対象：全学年・115名 保護者・延べ35名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (オリンピックの体験を聞く会、堤神楽講習会、 車いすバスケットボール選手を迎えて) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関する興味、関心を向上させ、スポーツに親しむ心を育成する。 ・郷土の芸能文化である「堤神楽」を理解し、文化の多様性を尊重する態度を育成する。
5 取組内容	<p>1 オリンピックの体験を聞く会（講演会）</p> <p>ねらい：オリンピックへの関心を高め、国際的な視野を持って世界の平和に貢献する心とスポーツに親しむ心を育成する。</p> <p>日時：令和元年7月3日（水） 14：35～15：15</p> <p style="text-align: right;">  </p> <p style="text-align: center;">聖火リレーの様子(1964)</p> <p>講師：高橋 征夫 氏 (東京オリンピック聖火ランナー) 倉繁 正人 氏 (札幌オリンピック聖火ランナー伴走者)</p> <p>対象：全校生徒、保護者（希望者）</p>

本校には東京オリンピックの聖火リレーで使用されたトーチが残されている。時の流れと共に、本校にトーチがあるのがなぜなのか分からなくなってしまっていた。縁あって、地域在住のかつての聖火ランナーの方々にお話を伺う機会を設けることとなった。

【事前指導】

- ・校長室で展示していたトーチを昇降口前のホールに移動し、全校生徒が見られる、触れられるように展示した。
- ・全校生徒に対してアンケートを実施し、事前に質問したいことを提出させた。

【実践】

- ・体育館前方に大型スクリーンを準備し、当時の写真などを映し出しながら、体験談を聞いた。
- ・体験を聞いた後に、事前アンケートで寄せられていた質問をもとに、質疑応答の時間を設けた。
- ・準備や進行等、PTA 研修委員会の協力により講演会が運営された。



トーチを手に話す高橋氏



当時の様子を伝えるスライド

【事後指導】

- ・講演会后に生徒全員で講師への御礼のメッセージを書き、講師宛に送付した。

2 堤神楽講習会

ねらい：伝統芸能に愛着を持ち、大切に受けつごうとする心を育むと共に、地域の文化を発信する力を養う。

日時：令和元年11月1日（金）13：30～14：40

講師：堤神楽保存会（6名）

対象：全校生徒

地域で受けつがれている「堤神楽」は大河原町の無形文化財の指定を受けている。生徒は小学校の時も堤神楽の練習に取り組んでいる。今回はその技能を確認し、やがて外国の皆さんにも紹介できるような力をつける機会として講習会を設けた。



演舞（一本剣の舞）

【事前指導】

- ・小学校時代の役割（大太鼓、小太鼓、篠笛、舞）を学年毎に確認した。

・帰りの会の時間等を利用して、堤神楽の歴史等をまとめた資料を配付した。

【実践】

- ・保存会の方々による「鯛釣り舞」、「一本剣の舞」の演舞を鑑賞した。
- ・小学校以来練習してきている「弓八幡舞」を学年毎、順番に練習した。
- ・保存会の代表の方から、講評をいただいた。



練習する生徒(弓八幡舞)

【事後指導】

- ・講演会後にアンケートを実施し、自己評価させると共に、今後の取り組みについての意見を募った。

3 車いすバスケットボール選手を迎えて（講演会・体験会）

ねらい：スポーツに関する興味・関心を向上させ、スポーツに親しむ心を育成すると共に、選手のお話や体験を通して障害への理解を深める。

日時：令和元年11月20日（水）13：30～15：20

講師：豊島 英 氏

萩野 真世 氏

（車いすバスケットボールチーム 宮城MAX）

対象：全校生徒、保護者（希望者）

日本選手権11連覇中の強豪チームの宮城MAXは、仙台市を本拠地としているが、隣の角田市を活動拠点にしたこともある。今回は講演に加えて、生徒に体験の場を提供していただくことにした。



講演する豊島氏と萩野氏

【事前指導】




- ・朝の会や帰りの会等で内容を紹介し、生徒の興味、関心を高めた。

【実践】

- ・2人の選手の体験談等を聞き、その後体験に入った。
- ・体験は、生徒一人一人が順番で車いすに乗った状態からのシュート、各学級代表による模擬試



車いすに乗って体験する生徒

	<p>合、教員5名対講師1名の模擬試合の順に進められた。会場内が大いに盛り上がる状況となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 質疑の時間には、生徒から多くの質問が上がった。 • 終了後には講師を交えた全員で、記念撮影を行った。 <p>【事後指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 講演会后に生徒全員で講師への御礼のメッセージを書き、講師宛に送付した。  <p>最後に全員で記念撮影</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>1 オリンピックの体験を聞く会（講演会）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 聖火ランナーを務めたときに着用したユニフォーム、当時の写真など貴重な資料を持参していただき、生徒にとって興味の内容となった。 • 講演会の運営には、本校PTAの研修委員会の協力を得ることができた。 • 生徒からは非常に多数の質問が寄せられており、関心の高さがうかがわれた。  <p>当時着用したユニフォーム</p> <p>2 堤神楽講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小学校以来の経験を思い起こし、保存会の皆さんに直接、指導を受けられる貴重な機会となった。 • 事後アンケートの結果からも、地域の文化に対する思いの深さが伝わってきた。 <p>3 車いすバスケットボール選手を迎えて</p> <ul style="list-style-type: none"> • 実際に国際大会で活躍している現役選手ということで、部活動でバスケットボールをしている生徒を中心に非常に盛り上がりのある会となった。 • 講演会の運営には、本校PTAの研修委員会の協力を得ることができた。  <p>PTA研修委員のみなさん</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>生徒の興味、関心を高めるために、地域の特性を生かした活動になるように努めた。地域にオリンピックに結びつく方々がいたこと、そして伝統文化を地道に引き継いでいる方々との接点があったことは、本校にとって大変恵まれたことであり、今回の事業の成功への鍵となるものであった。</p>

<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 講師側の都合と学校の都合があり、スケジュールの調整にはやや時間を取られた。 • 地域の特性を生かした活動を行いたいと考えたときに、それに関わしい企画を考えることが、なかなか難しい。今回は、地域の力に助けられたが、今後の継続性などを考えると難しさもあると思う。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 堤神楽講習会については、来年度以降も同じ時期に実施できるように保存会の皆さんに協力依頼済みである。地域の伝統文化に触れ、生徒自身も楽器や舞の技術を向上させる機会としていきたい。 • オリンピック、パラリンピック用の掲示板を生かして、競技日程や日本人選手の活躍を生徒に紹介していきたい。 <div data-bbox="963 465 1326 745" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1023 748 1262 779">現在の掲示板のようす</p>